

3 行動計画推進部会

3-1 観光・おもてなし醸成分科会

開業する上越妙高駅を新たな当地域の玄関口として位置づけ、連携会議加盟5市の魅力を発信・PR、旅行エージェントから旅行商品を造成してもらうことなどにより観光誘客を図り、同駅から各地域へと広域で周遊してもらえよう、広域周遊モデルルートの検討及びモニターツアーの実施、旅行エージェントへの売込、情報提供等を実施してきました。

【平成23年度の取組】

新幹線新駅を起点、終点とする広域周遊型旅行商品のモデルコースの検討、多彩な魅力をもつ地域の「食」の提供方法、PR方法など、専門能力を有する(株)JR東日本企画(委託業者)のアドバイスを取り入れながら、新幹線開業のチャンス进行、より実効性の高い事業を検討しました。(「食」検討分科会と併せて取組を実施)

<取組一例>

- 広域周遊型旅行商品のモデルコースと、連携会議に参加する5市間の魅力的な観光資源を有機的に結びつけ、広域的に周遊できる観光ルートのモデルコースを策定しました。
- 新幹線活用地域活性化セミナーの開催[3月15日(木)]

参加人数約100人

阿蘇地域振興デザインセンター事務局長 坂元英俊氏を招き、先行事例を紹介する講演会を実施しました。

- ∞プロジェクト(小規模事業者地域力活用 新事業全国展開支援事業「謙信公ブランド活用ルート開発プロジェクト」)

上越商工会議所を中心として、インターネットにおけるアンケート「上越市イメージ調査(10月)」、春日山城址周辺と高田エリアにおける「実施調査(9月、10月)」、通行手形や青苧についての「ニーズ調査(12月)」を行いました。



【平成24年度の取組】

- 平成23年度に策定したモデルコースに基づき、具体的な旅行商品を想定したコースのモニターツアーやプロモーション活動を展開しました。
- 旅行者を受け入れる当地域(着地)側が、おすすめの観光資源・食を基にした観光ツアーや体験プログラムを提供する着地型旅行商品の造成に向けたプロモーション活動を展開しました。
- 上記の取組の結果、JRの「プレDC」商品として、JR東日本「びゅう商品」に採用され、平成25年度の春・夏版として売り出されることになりました。
- 「観光」をテーマとしたセミナーの開催や地域外に向けての観光の情報発信を進めました。

広域周遊型旅行商品造成に向けたモニターツアーの実施

事業名	実施日	参加人数	実施概要
上越-柏崎-十日町コース	9月12日(水) ～13日(木)	4人	観光エージェントを招き、観光コンテンツの評価を実施
上越-妙高コース	10月3日(水) ～4日(木)	17人	観光エージェントを招き、観光コンテンツの評価を実施
上越-佐渡コース	11月19日(月) ～21日(水)	15人	一般の方を募集し、観光コンテンツの評価を実施



上越・柏崎・十日町コース



(各モニターツアー開催のようす)
上越・妙高コース



上越・佐渡コース

着地型旅行商品造成に向けたモニターツアーの実施

「謙信公ブランド活用ルート開発プロジェクト」(∞プロジェクト)の一環

事業名	実施日	参加人数	実施概要
春日山コース	8月27日(月)	19人	一般の方を募集し、春日山を半日でバスで回るコースの評価を実施
高田(城下町・寺町)コース	10月29日(月)	16人	一般の方を募集し、高田を半日でバスで回るコースの評価を実施
春日山・高田コース	11月13日(火) ～14日(水)	5人	観光エージェントを招き、上記2コースの評価を実施
春日山・高田コース	3月21日(木) ～22日(金)	40人	一般の方を募集し、春日山・高田をめぐるコースの評価を実施



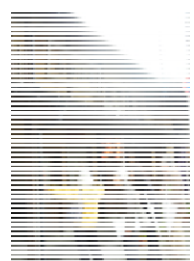
春日山コース チラシ



春日山・高田コース(一般募集)
チラシ



埋蔵文化財センター前にて
＜春日山コース＞



高田小町前にて
＜高田コース＞



林泉寺前にて
＜春日山・高田コース＞



びゅう JR東日本パンフレット（2013春・夏版）

観光セミナーの開催及び観光の情報発信を実施

事業名	実施日	参加人数	実施概要
新幹線・観光セミナー	4月11日(水)	200人	JR東海初代社長の須田氏を招き、講演会を実施
関西圏への開業PR	7月13日(金)	—	関西圏への誘客PRに向けた協議、連携の依頼を実施
旅行エージェント商談会	9月26日(水) 2月14日(木)	—	「うまさぎっしり新潟観光交流会」等で当地域の観光、食をPR



新幹線・観光セミナー チラシ



旅行エージェント商談会のようす

【平成 25 年度の取組】

○ 地域の魅力的な観光資源 PR、旅行商品化

- | |
|-------------------------|
| (1) 「越五の国モニターツアー」の実施 |
| (2) 着地型旅行商品の試験販売の実施 |
| (3) 商談会参加によるエージェントへの売込み |
| (4) 「越五の国」紹介記事の掲載 |
| (5) 「越五の国ツアー」の造成 |

(1) 「越五の国モニターツアー」の実施

当地域の旅行商品造成を具体的に検討している関西・北陸の旅行エージェントを対象に、越五の国をめぐる旅行商品を想定したコース「越五の国ツアー」のモニターツアーを実施しプロモーション活動を進めました。

事業名	実施日	参加人数	実施概要
上越-柏崎-十日町コース	8月28日(水) ~30日(金)	2人	観光エージェントを招き、観光コンテンツの評価を実施
上越-妙高コース	9月2日(月) ~4日(水)	5人	観光エージェントを招き、観光コンテンツの評価を実施
上越-佐渡コース	9月9日(月) ~11日(水)	3人	観光エージェントを招き、観光コンテンツの評価を実施



上越-柏崎-十日町コース



上越-妙高コース

(2) 着地型旅行商品の試験販売の実施

旅行者を受け入れる当地域（着地）側が、おすすめの観光資源・食を基にした観光ツアーや体験プログラムを提供する着地型旅行商品の造成に向けたプロモーション活動を展開に向け、試験的に着地型旅行商品の提供を実施しました。

事業名	実施日	実施概要
春の高田を歩こっさ	4月	高田城百万人観桜会に合わせたまち歩きツアー
鵜の浜発着の定期観光バス	4月	高田城百万人観桜会を目的とした宿泊者を対象に、上杉謙信公ゆかりの地を訪ねる鵜の浜温泉発着の定期観光バスを実施



観桜会会場でまち歩きツアーを紹介
「春の高田を歩こう」



まち歩きツアーのようす
「春の高田を歩こう」

(3) 商談会参加によるエージェントへの売込み

事業名	実施日	実施概要
東京商談会	9月11日	H26年春夏商品商談会（新潟DC期間向け）
	2月13日	H26年秋冬商品用商談会
大阪商談会	9月18日	H26年春夏商品商談会（新潟DC期間向け）
	3月5日	H26年秋冬商品用商談会

(4) 「越五の国」紹介記事の掲載

JRを利用した当地域への旅行商品の造成に向け「越五の国」を紹介する記事を掲載しました。

事業名	実施日	実施概要
「越五の国」紹介記事の掲載	6月	「旅サライ 8月号（6月21日発売）」に「越五の国」の紹介記事を掲載。（4ページ）
「越五の国」の観光特集記事の掲載	3月	「旅行読売 4月号（3月2日発売）」に「越五の国」の記事掲載、及び関連旅行商品の紹介を実施。（記事3ページ、旅行商品紹介1ページ）
「越五の国ツアー」短冊広告	3月	読売旅行から「越五の国ツアー」の短冊広告を、同社の会員に対して発送。（10万部）



「越五の国」特集記事の掲載
（旅行読売 4月号）



「越五の国ツアー」短冊広告

(5) 「越五の国ツアー」の造成に向けた取組

「越五の国ツアー」の特集記事と連動したツアー商品の造成を進めました。

JRの「新潟デスティネーションキャンペーン」商品として、「越五の国」の各観光地がJR東日本「びゅう商品」に採用されました。

事業名	実施日	実施概要
「越五の国ツアー」の実施	平成26年 4月	読売旅行の企画・実施による「越五の国ツアー」を実施計画 ・魅力どっさり 春の佐渡島と妙高赤倉温泉（3日間） ・春爛漫！高田城址公園の桜と松之山温泉（2日間）
JR東日本「びゅう商品」での採用	平成26年 春・夏版	「越五の国」の各観光地が、JR東日本「びゅう商品」に採用され、2014年春・夏版として販売



「越五の国ツアー」の実施
(旅行読売掲載記事)



JR東日本「びゅう商品」での採用
びゅうJR東日本パンフレット（2014 春・夏版）

【平成26年度の取組】

○ 越五の国ツアー造成事業

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) リゾート列車「越乃 Shu * Kura」の運行 (2) 観光商談会等参加によるエージェントへの売込み |
|--|

(1) 「リゾート列車「越乃 Shu * Kura」の運行

事業名	実施日	実施概要
上越、柏崎、十日町の越五の国を巡るリゾート列車「越乃 Shu * Kura」の運行	5月2日～ 11月30日	JR東日本から地酒王国・新潟が誇る「酒」を堪能できる特別列車が5月2日から運行を開始しました。上越、柏崎、十日町の越後の国を巡る車内では、利き酒や食材にこだわったおつまみ、ジャズの生演奏やイベントを楽しむことができます。 ○運行経路 信越本線高田駅～飯山線十日町駅 ○運行日 5～11月の金・土・日・祝日（例外日あり）



「越乃 Shu*Kura」の試乗会のようす
(H26.4.28)



「越乃 Shu*Kura」デビューのおもてなし
JR春日山駅 (H26.5.2)

(2) 観光商談会参加によるエージェントへの売込み

越五の国における季節に応じたイベントや観光地、食事処を旅行エージェントに提案・紹介し、上越妙高駅を起点とした旅行商品造成を促しました。

事業名	実施日	実施概要
大阪商談会	8月26日(火)	平成27年春夏商品商談会
東京商談会	9月18日(木)	平成27年春夏商品商談会
ツーリズムEXPOジャパン 2014	9月25日(木)	平成27年商品商談会
首都圏営業担当者及び団体手配担 当者との新潟県観光情報交換会	1月7日(水)	平成27年商品情報交換
大阪商談会	2月10日(火)	平成27年商品商談会
東京商談会	2月24日(火)	平成27年商品商談会



大阪商談会のようす (H26.8.26)

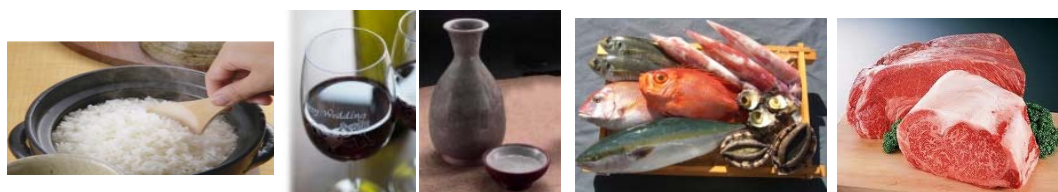
3-2 「食」検討分科会

全国的に見ても魅力的な当地域の食資源である「日本海の幸」「米」「酒」と、無名ではあるが品質の高い「地場産肉（くびき牛等）」を、新幹線開業までに、知名度が向上し、当地域に来る観光客等に提供できる体制を整備するための取組を行いました。

【平成 23 年度の取組】

新幹線新駅を起点、終点とする広域周遊型旅行商品のモデルコースの検討、多彩な魅力をもつ地域の「食」の提供方法、PR方法など、専門能力を有する(株)JR東日本企画(委託業者)のアドバイスを取り入れながら、新幹線開業のチャンスをいかす、より実効性の高い事業を検討しました。(観光・おもてなし醸成分科会と併せて取組を実施)

「米」「酒」「日本海の幸」「地場産肉（くびき牛等）」の4つの魅力を発信していくこととしました。



「米」「酒」「日本海の幸」「地場産肉（くびき牛等）」4つの魅力のイメージ

【平成 24 年度の取組】

当地域の食資源である「米」「酒」「日本海の幸」「地場産肉（くびき牛等）」の魅力の提供方法、PR方法の検討を進めました。

事業名	実施日	実施場所等	実施概要
共通寿司メニューとそれに合う地酒の提供に向けた検討	9月～	直江津地区すし組合 高田地区すし組合	県すし組合が実施している“すし三昧「極み」”と地酒を合わせて上越市内のすし店でも提供できるよう検討を実施
くびき牛と料理に合う地酒の旅館等での提供に向けた検討	9月～	妙高温泉郷旅館組合 くびき牛生産販売会	くびき牛と、その料理に合う地酒(日本酒、ワイン)を宿泊パックとして提供できるよう検討を実施。「びゅう 2013 春・夏号」の旅行商品として、表紙および4ページめに掲載。
土産製造業者意識啓発セミナー	6月21日 (木)	上越商工会議所	観光物産総合研究所の稲田代表を招き、講演会を実施(参加人数36人)
飲食店ガイドブックの作成	8月～3月	上越市内飲食店	新幹線開業時に上越妙高駅に降りた方の利用を想定した飲食店ガイドブックを作成するため、内容等の検討を実施
お土産魅力アップ勉強会	1月24日 (木)	上越商工会議所	お菓子製造業者を対象に、船井総合研究所の田中氏を招き講演会を実施(参加人数29人)
直江津あすか通り春まつり	3月14日(木) ～ 3月18日(月)	直江津駅自由通路 (あすか通り)	地域の団体が主体となり、地域の食、物産等の魅力を紹介し、子供連れでも楽しめるイベントとして実施

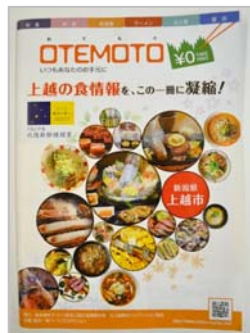


「酒」「くびき牛」を併せた旅行商品の造成

くびき牛に関する勉強会



「極み」と地酒を合わせたメニューの検討



飲食店ガイドブックの製作



土産製造業者意識啓発セミナー（6/21）



お土産魅力アップ勉強会（1/24）



あすか通り春まつり（チラシ）



あすか通り春まつり開催のようす

【平成 25 年度の取組】

○ 地域の「食」の魅力の発信、売込

- (1) 地域共通の寿司メニューの開発
- (2) 地場産肉（くびき牛）の飲食店・旅館等での提供
- (3) 「越五の国御膳」「越五の国弁当」の販売に向けた検討
- (4) 新幹線の車内販売、グランクラスでの提供に向けた検討

(1) 地域共通の寿司メニューの開発

すし三昧「極み」は平成 25 年 3 月から上越市内のすし店 6 店舗で提供を開始しました。

（提供店舗数：上越市 6 店舗、柏崎市 7 店舗、十日町市 5 店舗、佐渡市 1 店舗）

(2) 地場産肉（くびき牛）の飲食店・旅館等での提供

くびき牛は平成 25 年 4 月から妙高市の宿泊施設（1 施設）にて提供を開始したのち、平成 25 年 10 月から鶴の浜温泉の宿泊施設にて夕食のオプションメニューとして提供を開始しました。平成 26 年 4 月からは妙高市の宿泊施設での提供店（6 施設）を拡大するなど、今後の提供店の拡大に向けた取組を進めています。

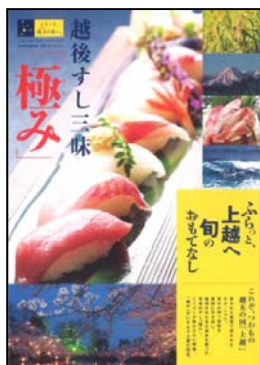
(3) 「越五の国御膳」「越五の国弁当」の販売に向けた検討

北陸新幹線開業と合わせ地域の食の魅力を PR するため、越五の国（上越・妙高・柏崎・十日町・佐渡）を代表する食材（米・酒・日本海の幸・くびき牛）が最もおいしく食べられる献立を盛り込んだ「越五の国御膳」「越五の国弁当」の販売に向け検討を進めています。「越五の国弁当」については、2014 年春の JR 東日本「びゅう商品（春の旅）」に採用されました。

(4) 新幹線の車内販売、グランクラスでの提供に向けた検討

当地域を訪れた方々から買ってもらえるような「食」の魅力を、新幹線の車内販売、グランクラスでの提供や、広告媒体等を通じて広く全国へ周知を図り、地域の文化、伝統、食の魅力等を地域外に PR する検討を進めました。

事業名	実施日	実施場所等	実施概要
共通寿司メニューとそれに合う地酒の提供	平成 25 年 3 月～	直江津地区すし組合 高田地区すし組合	“すし三昧「極み」”について、3 月から上越市内のすし店（6 店舗）で提供を開始
くびき牛の提供店拡大に向けた検討	4 月～	くびき牛生産販売会	幻の良質肉「くびき牛」の提供店を拡大する検討を実施
「越五の国御膳」「越五の国弁当」の販売に向けた検討	9 月～	上越朱鷺ノ会 5 市観光協会等	9 月 9 日「越五の国御膳」「越五の国弁当」の販売に向け試作品の発表会を実施 「越五の国弁当」が JR 東日本「びゅう商品（2014 年春）」に採用
グランクラスにおける「越五の国」の酒・食提供に向けた検討	7 月～	えちご上越農業協同組合 酒造組合 くびき牛生産販売会 (など関係団体)	北陸新幹線車内（グランクラス）での料理提供・弁当販売に向けた検討を開始



すし三昧“極み”(チラシ)



「越五の国御膳」和食



「越五の国御膳」洋食

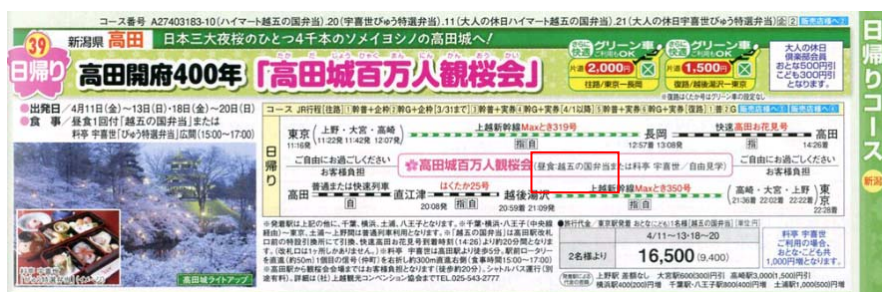


「越五の国弁当」

「越五の国御膳」「越五の国弁当」試作品発表会 (H25.9.9 実施)



びゅう JR 東日本パンフレット
(2014 年春)
「新幹線・特急列車で桜を見に行こう」



高田開府 400 年「高田城百万人観桜会」ツアーに
「越五の国弁当」が採用

【平成 26 年度の取組】

○ 地域の「食」の魅力の発信、売込

- (1) 越五の国食の魅力 PR パンフレットの作成
- (2) 新幹線の車内販売、グランクラスでの提供に向けた検討

(1) 越五の国食の魅力 PR パンフレットの作成

これまで販売に向けた検討や開発を進めてきた「越五の国御膳」を始めとする越五の国の「食」の魅力を PR するためのパンフレットを作成しました。



越五の国「食」PR パンフレット



(2) 新幹線の車内販売、グランクラスでの提供に向けた検討

前年度に引き続き、当地域の「食」の魅力を新幹線の車内販売やグランクラスにおける提供に向けて連絡調整・検討を進めました。

3-3 新駅周辺整備・交通アクセス分科会

上越妙高駅を起点とし、連携会議加盟の5市の観光地等を周遊、往来できるよう、利便性の高い二次交通を整備するための検討及び調査を広域的な視点で実施してきました。

【平成 23 年度の取組】

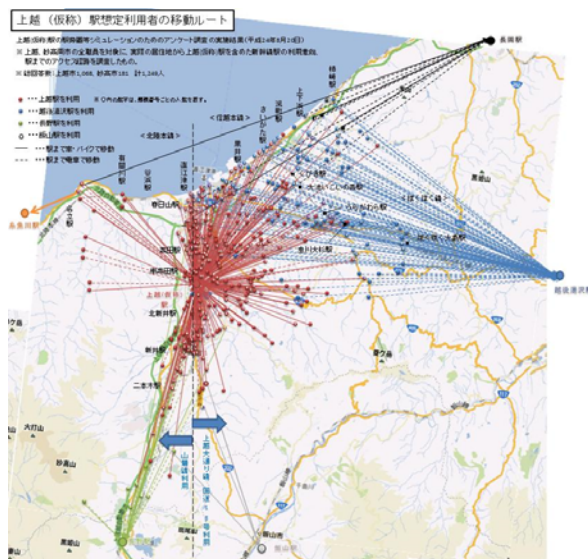
観光・おもてなし醸成分科会で検討している旅行商品のモデルコースにおける交通手段の検討から具体的な活動を開始し、次年度、新幹線新駅から地域内の各地、地域内の各地から新幹線新駅へのアクセス等を検討することとしました。

【平成 24 年度の取組】

先進地の取組や現在の輸送実績の把握など勉強会を重ねるとともに、開業後の駅勢圏や旅客流動量を把握するための調査事業を実施してきました。

また、より具体的な検討を行うため、北陸新幹線と並行在来線の仮想ダイヤを作成し、今後、運行計画のシミュレーションを実施していくこととしました。

事業名	実施日	実施場所等	実施概要
上越妙高駅の駅勢圏調査	8月	上越市及び妙高市職員	上越市、妙高市職員を対象に、駅利用の意向調査を実施
上越妙高駅から直江津港までの交通アクセス検証調査	10月～3月	佐渡市交通政策課	佐渡市への旅客流動量を推計し、北陸新幹線開業後の上越妙高駅から直江津港までの交通アクセスについて、検証調査を実施
第5回新駅周辺整備・交通アクセス分科会において、北陸新幹線と並行在来線の仮想ダイヤの作成	1月29日 (火)	上越市役所	北陸新幹線と並行在来線の仮想ダイヤを作成し、これを基に各交通事業者が運行計画のシミュレーションを実施することとした



上越妙高駅の駅勢圏調査結果



第5回新駅周辺整備・交通アクセス分科会開催のようす

【平成 25 年度の取組】

(1) 佐渡観光ルートへの交通アクセス検証

昨年度実施した上越妙高駅から直江津港までの交通アクセス検証調査において、北陸新幹線開業により、直江津-小木航路の利用客数が増加する見込みもあることから、新駅から直江津港までの交通アクセス構築に向け、より具体的な交通アクセスの利用需要を把握するためアンケート調査を実施するとともに、小木港から佐渡島内の主要観光施設への交通アクセス、上越新幹線を利用した周遊ルートの確保に向けた実証運行を実施しました。

(2) 上越妙高駅からの二次交通整備に向けた検討

上記アンケート調査結果から利用希望の多かった上越妙高駅と直江津港を直接結ぶシャトルバスについて、バス交通事業者が開業に合わせた運行を目指すこととしました。

また、定期観光バスや観光タクシーについても新潟デスティネーションキャンペーンに合わせ開業後の「上越妙高駅」乗入れを見据えた運行を開始しました。

事業名	実施日	実施場所等	実施概要
佐渡観光ルート検証に係るアンケート調査	8月 3, 4, 5日	佐渡汽船（直江津港）	上越妙高駅から直江津港までの具体的な交通アクセスの利用需要を把握するため、佐渡を訪れる観光客等を対象としたアンケート調査を実施
佐渡観光ルート検証に係る南線実証運行	7月～ 10月	佐渡市（佐和田、真野、畑野、新穂、両津地区）	小木港から佐渡島内の主要観光施設への交通アクセス、上越新幹線を利用した周遊ルートの確保に向けた実証運行を実施
直行シャトルバスの新規運行	開業後	上越妙高駅～直江津港	アンケート調査から利用希望の多かった上越妙高駅と直江津港を直接結ぶシャトルバスを開業に合わせて運行を開始する予定



アンケート調査のようす（佐渡汽船）

【平成 26 年度の取組】

前年度に引き続き、開業後の利便性の高い上越妙高駅からの二次交通整備に向けて、交通事業者間の連絡調整・検討を進めました。

また、開業に合わせて「越五の国交通ガイドマップ」と「上越妙高駅ポケット時刻表」を作成し、SAKURA プラザ（上越妙高駅観光案内所）をはじめ各市の施設等に設置しました。



「越五の国」交通ガイドマップ



上越妙高駅ポケット時刻表

列車種別	上越	妙高	柏崎	十日町	佐渡
大 阪 方 面	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00
上越妙高駅	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00
妙高駅	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00
柏崎駅	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00
十日町駅	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00
佐渡駅	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00

佐渡汽船 直江津～小木航路

カーフェリーこがね丸ダイヤ (27.3.14～4.20)

北陸新幹線	列車名	551	554	557	562	563	566
始 発	東京	金沢	東京	金沢	東京	金沢	東京
上越妙高駅	発	628	722	944	1132	1296	1333
上越妙高駅	着	842	1250	1520			
直江津港	着	912	1320	1550			
直江津港	発	930	1340	1610			
佐渡汽船	小木	1210	1620	1850			
運航日		◎	◎	◎			

高速カーフェリーあかねダイヤ (27.A.21～11.23予定)

北陸新幹線	列車名	551	554	559	562
始 発	東京	金沢	東京	金沢	東京
上越妙高駅	発	628	722	1052	1132
上越妙高駅	着	842	1250	1310	
直江津港	着	912	1340		
直江津港	発	930	1340		
佐渡汽船	小木	1110	1550		
運航日		毎日	毎日	毎日	毎日

※各バス停に停車
青文字＝金沢で大阪発および大阪行（サンダーバード）と接続
【運航日のご案内】 ◎＝3/15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31
4/1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19
◎＝3/14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30
4/2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20
【注意事項】 多客期は臨時便が運航されます。
11月24日から12月23日は臨時便予定です。
詳しくは、佐渡汽船(P35参照)にお問合わせください。

佐渡汽船シャトルタクシーのご案内
特におすすめの「最大9名までOKのシャトルタクシーです！」
※ご予約は上越観光コンベンション協会 ☎025-543-2777
上越妙高駅 約25分 直江津港ターミナル
料 金(往復) 小 型(乗員4名) 4,400円 ・ジャンボ(乗員9名) 6,000円

3-4 コンベンション分科会

北陸新幹線開業による他都市圏等からの時間的距離の短縮をいかした、学会や総会、会議、見本市、展示会など各種コンベンションの誘致活動を図りました。

【平成 23 年度の取組】

上越市体育課等において、今年度、今後のスポーツ等振興施策を展望する中で、新幹線を活用した取組展開を検討しました。

【平成 24 年度の取組】

北陸新幹線開業による他都市圏等から時間的距離の短縮をいかした、学会や総会、会議見本市、展示会など各種コンベンションを積極的に誘致するため、広範囲からの集客が見込まれるコンベンションの開催可能性の検討と具体的な誘致活動を進めました。

事業名	実施日	実施場所等	実施概要
コンベンション誘致候補の照会	6月、10月	分科会メンバー	本分科会参加団体に対し、誘致候補の照会を実施
会議室、ホール、宿泊施設等調査	6月	分科会メンバー	本分科会参加団体に対し、誘致可能施設等の調査を実施
コンベンション誘致活動	6月～	コンベンション誘致候補先	誘致候補先の訪問等コンベンションの誘致活動を実施
コンベンションガイドブックの作成	7月～3月	分科会メンバー	コンベンション誘致のため、地域内の会議室、ホール、宿泊施設、観光情報等をまとめたガイドブックを作成
コンベンション参加者アンケート調査	7月～1月	上越市開催のイベント会場6カ所 (SAKEまつり等)	コンベンション誘致に向けたアンケート調査(旅行費用、意見・要望等)を実施。 調査回答数 460人
MICE(マイス)セミナーの開催	11月29日(木)	上越文化会館	MICE 誘致に向けた体制整備、関係者の機運醸成を目的に実施(参加人数 89人)



上越 MICE セミナーの実施
(講師：新潟県 MICE 研究協議会 阿部 正喜 氏)



コンベンションガイドブックの作成

【平成 25 年度の取組】

前年度に引き続き、北陸新幹線開業による他都市圏等から時間的距離の短縮をいかした、学会や総会、会議見本市、展示会など各種コンベンション誘致を進めました。

平成 25 年度に開催が決定したコンベンション事例（全国大会規模）

事業名	実施日	参加人数	実施概要（実施場所等）
第 69 回全日本学生体操競技選手権大会・第 67 回全日本学生新体操選手権大会	平成 27 年 8 月 18 日～27 日 (10 日間)	選手 600 人 役員 150 人 延べ 4,000 人	リージョンプラザ上越
日本都市学会第 62 回大会	平成 27 年 10 月 30 日～11 月 1 日	150 人程度	

※その他に北信越規模のコンベンション誘致あり

【平成 26 年度の取組】

北陸新幹線開業による他都市圏等からの時間短縮によってもたらされる交流可能圏域の拡大を活かすため、これまで取組を進めてきた補助金制度などを積極的に発信し、学会や総会、会議見本市、展示会など各種コンベンション誘致を進めました。

平成 26 年度に開催が決定（実施）したコンベンション事例（全国大会規模）

事業名	実施日	参加人数	実施概要（実施場所等）
全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会新潟大会	平成 26 年 10 月 30 日～31 日	600 人	上越文化会館
第 57 回関東音楽教育研究会新潟大会	平成 27 年 10 月 15 日～16 日	550 人	上越文化会館
平成 27 年度全国ソフトバレエ・スポレクフェスティバル in 上越	平成 27 年 11 月 6 日～8 日	390 人	リージョンプラザ上越

3-5 産業振興・企業誘致分科会

「交通利便性、立地優位性をいかした企業立地などによる雇用の場を創出」「新幹線開業による大都市圏との時間的距離の短縮により、産学連携・産産連携によるものづくり産業の活性化」「大都市圏等の経済団体との連携」により、地域経済の活性化を図る取組を検討・実施しました。

【平成 23 年度の取組】

上越市産業立地課において、今年度、開業を一つのエポックと捉える中で、今後の企業誘致の在り方について、来年度以降の取組方針を検討しました。

また、上越ものづくり振興センターにおいて、開業により時間的距離の短縮が図られる大都市圏、新幹線沿線都市とのビジネスマッチングの可能性や、当該地域で開催される展示会等への出展、関係経済団体との勉強会の立ち上げ等を検討しました。

【平成 24 年度の取組】

開業で更に優位となる立地特性をいかし、新たな企業誘致方策等の検討を進めました。

交流拡大が期待される関西・中京・北陸地域の経済団体等によるセミナーを開催し、地域経済との連携を進めました。

事業名	実施日	実施場所等	実施概要
経済交流等の意向調査	10月	上越商工会議所会員企業	北陸新幹線開業後の大都市圏、沿線都市圏との経済交流等の意向調査を実施
関西圏との経済交流セミナー	10月17日(水)	ホテルハイマート	関西経済連合会の神田地域連携部長を招き、講演会を実施(参加人数109人)
上越市企業立地ガイドブックの作成	3月	上越市	企業誘致に向け、上越市内の産業団地のガイドブックを作成



関西圏との経済交流セミナーの実施
(講師：関西経済連合会 地域連携部長 神田 彰)



上越市企業立地ガイドブックの作成

【平成 25 年度の取組】

上越商工会議所において、北陸新幹線開業に向けた北陸方面や関西圏への情報交換や取引マッチング、販路開拓などのビジネスチャンスをつなげるため、関係団体との交流を実施しました。

事業名	実施日	実施場所等	参加数	実施概要
東大阪商工会議所との都市間交流の実施	11月6日、7日	シティプラザ大阪	20社	東大阪商工会議所との商談会、交流会を実施



東大阪商工会議所との都市間交流のようす

【平成 26 年度の取組】

上越市において、上越妙高駅周辺地域の企業進出に向け、北信越地域に支店・営業所等を設置している企業に対し、意向調査を実施。上越妙高駅周辺地区を営業所等の候補地として検討する可能性があるという回答した企業に対して、上越市新幹線駅周辺地区商業地域土地利用促進協議会と共同し企業訪問を実施しました。あわせて、上越市内産業団地等への企業立地に向け、上越市の優位性や企業立地優遇制度をPRし、企業誘致活動を実施しました。

3-6 医療・保健・福祉分科会

新幹線開業に伴い、通勤圏の拡大や滞在時間の延長が見込まれることから、大都市圏からの医師の招致により当地域で働く医師が増える取組を実施するとともに、県立看護大学、妙高市等の関係団体でヘルスツアー、メディカルグリーンツアーの商品化を目指す取組を検討・実施しました。

【平成 23 年度の取組】

上越地域病院長連絡協議会(上越地域に存する総合病院の病院長及び上越医師会の会長により組織)において、地域の医師不足、看護師等医療スタッフ不足の解消に向け、大都市からの招致、働きやすい環境の整備等について検討を実施しました。

また、観光・医療分野の連携により、妙高市及び上越市の自然資源や温泉を活用した癒しの運動や温泉旅行等の健康体験を伴うツアーを実施し、心身のリフレッシュを図ると

もに、健康効果の検証を図るヘルスツアー、メディカルグリーンツーリズム事業(モニターツアー)を開催しました。モニターツアー参加者からの意見聴取に基づき、ツアー内容の磨き上げ、来年度のモニターツアーの実施方法の検討など、旅行商品化を目指した取組を行いました。

自然体験、健康体験を伴う旅行商品造成に向けたモニターツアーの実施

事業名	実施日	参加人数	実施概要
妙高型ヘルスツーリズム	9月6日(木) ～9日(日)	13人	健康体験を伴う旅行商品造成に向けた検証、評価を実施
メディカル・グリーン・ツーリズム	9月28日(金) ～30日(日)	26人	リフレッシュ体験を伴う旅行商品造成に向けた検証、評価を実施



メディカル・グリーン・ツーリズム 食事例

※野菜ソムリエが料理指導を行い、参加者自らが作った地場野菜たっぷりのランチを食します。

妙高型ヘルスツーリズム チラシ

【平成 24 年度の取組】

- 上越地域病院長会連絡協議会において、北陸新幹線開業による医師不足の解消、地域医療体制の拡充等に向けた取組についての勉強会を実施しました。
- 新潟県立看護大学と直江津学びの交流館と連携して、看護大学での実習と介護施設を見学する「メディカルグリーンツーリズム (介護準備・学習コース)」を開催しました。
- 昨年度に引き続き、妙高市の自然資源や温泉を活用した癒しの運動や温泉旅行等の健康体験を伴うツアーを実施し、心身のリフレッシュを図るとともに、健康効果の検証を図るヘルスツアーを開催しました。

事業名	実施日	実施概要
「上越地域病院長会連絡協議会」による勉強会	7月26日(木)ほか	北陸新幹線開業による医師不足の解消、地域医療体制の拡充等に向けた取組についての勉強会を実施
メディカルグリーンツーリズム (介護準備・学習コース) 「どこでもできるリハビリ体操」	11月21日	看護大学で「リハビリ体操」の実習を行い、上越市内の2つの介護施設を訪問 (参加者14名)
妙高型ヘルスツーリズム	10月29日(火) ～31日(木)	妙高市の交流市・北名古屋市民を対象としたツアーを実施し、30人が参加。健康効果の検証を図る。

メディカルグリーンツーリズム（介護準備・学習コース）「どこでもできるリハビリ体操」のようす



「リハビリ体操」実習のようす



上越市内の介護施設を訪問



介護施設の昼食を体験



健康チェックのようす



気候療法ウォーキング
(笹ヶ峰高原)

【平成 25 年度の取組】

昨年度に引き続き、新潟県立看護大学と直江津学びの交流館と連携して、看護大学での演習と介護施設を見学する「メディカルグリーンツーリズム介護準備・学習コース」を開催しました。（看護大での「排泄ケア」演習と介護施設見学講座：参加者 14 名）

【平成 26 年度の取組】

医師や看護師等医療スタッフの確保に向け、関係機関において新幹線を活用した大都市からの招致、働きやすい環境の整備等について引き続き検討を実施しました。